



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@city.asaka.saitama.jp

発行責任者 校長 小太刀 周

「あいさつ」は自分を磨く言葉

校長 小太刀 周

桜の木々の枝葉が風に揺れ、日増しに緑を濃くする今日この頃、子供たちは、一日一日とたくましく成長しています。

毎週水曜日の朝、代表委員会の皆さんが児童玄関前で一列に並んで、あいさつ運動を実施しています。大きな声であいさつをしてくれる子、ちょっと小さな声の子と、いろいろな子がいますが、中には、しっかりと相手を見て笑顔で挨拶を返してくれる子もいます。

また、校舎内ですれ違う時、立ち止ってしっかりと会釈をしてくれる子がいます。はじめの頃は、あまりあいさつができていなかった子も、最近では、4月からの積み重ねの中で、あいさつに対する意識が変化してきていることを実感します。相手を思いやる気持ちは、まず、最初のあいさつからです。笑顔で言葉がけをすれば相手も笑顔を返します。笑顔いっぱいの学校からはじめやトラブルは無くなっていくと思います。相手に対する思いやりの気持ちを毎日のあいさつで表現していけるよう、学校と家庭が協力しながら指導を進めていきたいと思っています。

ところで、子供は、親の行動やしぐさを見て育ち、親がしたように行動します。親の望むように我が子を育てたいと願うなら、その願いのように親自身が行動することです。「笑顔が素敵な子供」を育てたいのなら、親自身が飛び切りの笑顔を日々見せることです。例えば、片付けができるようになったなら「しっかりしてきたね」と言っただけで褒め、残さず食べられるようになったなら「偉いね」と優しく笑顔で話しかけ、脱いだ靴をしっかりと揃えられなら「上手にできたね」と心から優しい顔をすればいいのです。

そこで、下記の言葉のように、ご家庭での生活や行動を親子ともども見つめ直し、あいさつについて、家族で話し合ってみて欲しいと思います。学校では、「相手の目を見てあいさつ」「相手の目を見て話し・聞くこと」等を推進しています。

率先垂範 人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと

朝霞第四小学校の児童全員が、明るく元気なあいさつができるよう、ご家庭でも進んであいさつの手本を示してくださるよう、ご指導とご協力を何卒よろしくお願いいたします。